

京師帝國大學法學科大學

經濟論叢

第三卷 第四號

故法學博士井上密君肖像并哀辭

論說

對露輸出代金決済方法

國防稅ノ當否(三、先)

代表紙幣ト獨立紙幣(二)

課稅ト獨占價格(二)

戰後ノ人口増加政策(三)

保險本質論(二、完)

雜錄

重子 在外正貨問題ヲ河津博士ニ答フ

公營造物ニ關スル美濃部織田松本三博士ノ所論ヲ讀ミテ東京市電車舊乘車券問題ニ及ブ(二)

支那ニ於テ人口過剩論ノ梗概

移民政策ニ對シテ邦人同化問題

村落共產體ノ發達

らぐれー『ミール』學說ノ研究(三、先)

過去ニ於ケル和蘭ノ植民の活動

神惟孝ノ事ニ對シテ鈴木券太郎氏ニ答フ

漬物机上觀

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

法學士 作田 莊一

文學士 高田 保馬

法學士 米田庄太郎

法學士 小島昌太郎

法學博士 神戶 正雄

法學博士 福田 德三

法學博士 鈴木券太郎

法學士 山本美越乃

法學士 本庄榮治郎

商學士 大塚金之助

山本美越乃

瀧本 誠一

法學士 財部 靜治

(載 轉 禁)

大正五年十月一日發行

代表紙幣ト獨立紙幣(二)

作 田 莊 一

先キニ本誌第二卷第四號ニ於テ不換紙幣流通ノ根據ニ就テ見テ述ベタル所、幸ニモ戸田博士ハ同卷第六號ニ於テ懇切ナル高教ヲ惠マレ、又計ラズモ福田博士ハ第三卷第一號ニ於テ戸田博士ノ不換紙幣論ヲ批評セラルル傍ラ見ニモ論及セラレ啓蒙ノ勞ヲ吝マンナカシタ。僻地ニ獨學スル後輩ニトリテ最モ渴望スル所ハ實ニ先覺ノ指導的批評デアアル。茲ニ余ハ爾先覺ニ對シ深ク芳情ヲ感謝スルト共ニ、先キノ見ノ續稿トモ見ルベキ一小論文ヲ草シ重テ爾博士初メ諸賢ノ示教ヲ嚮望スルコトトシタ。後學余ノ如キガ經濟學上ノ大難題タル貨幣ノ本質ニ就テ論議スルハ眞ニ盲者蛇ヲ恐レザルノ類デアリ、又此ノ小論文ノ如キモ未熟至極ニテ寧ロ問題ヲ提供シタルニ過ギナイガ、學ブニ性急ナル者ニトツテハ此亦已ムヲ得ナイノデアアル。

- 一、代表紙幣ノ特質。
- 二、代表セラルル正貨ノ價值。
- 三、正貨代表關係ノ開展。
- 四、代表紙幣ヨリ獨立紙幣ヘノ進路。
- 五、獨立紙幣ノ特質。

一 代表紙幣ノ特質

貨幣ハ經濟價值ヲ測定スル基準トナリ、又經濟價值ヲ移轉スル手段トナル所ノ社會用財物デア
ル。此ノ職能ハ貨幣ノ本質ヲ成シ、今モ昔モ變リナク始終一貫ノ普遍的意義ヲ貨幣ニ與フル。サ

レド貨幣ノ形態ニ至リテハ時代ニ由ツテ特相ヲ呈スル。社會ハ經濟交通ノ發展ニ伴ヒ貨幣ヲシテ時代ニ相應シ一層善ク其職分ヲ盡サシメンガ爲ニ其特殊ノ形態ヲ變ヘテ行ク。現代ハ少數ノ例外ヲ除クベ、金ヲ材料トスル鑄造正貨及ヒ之ヲ代表スル紙幣并ニ補助金屬貨ノ時代テアルガ、此ノ貨幣形態モ無論、歴史ノ一階段ヲ占ムルモノデ永久ノモノトハ言ヒ難イ。恐ラク將來ニハ今、福神視セラルル金ガ功成リ名遂ケテ退隱シ、之ニ續イテ新形態ノ紙幣ガ現ハルデアラウト思ハルル。併シ余ハ今、正面カラ貨幣進化ノ問題トシテ新紙幣ノ出現ヲ説クコトヲ躊躇スル。其ハ餘リニ想像ニ走ツテ居ル。唯茲デハ新紙幣ノ成立ガ可能ナルベキ所以ヲ述べ、其想像的紙幣ト對照セシムルニ由ツテ過去及ヒ現在ノ紙幣ノ性質ヲ一層明カニ説イテ見タイト思フダケデアアル。

正貨ノ具有スル職能ヲ代表シ正貨ト等シキ作用ヲ營ム證券ハ之ヲ正貨代表紙幣(略シテ代表紙幣)ト名ケ、此ノ代表關係ヲ絶テ正貨ヨリ離レテ自ラ貨幣ノ職能ヲ具足スル證券ハ之ヲ獨立本位紙幣(略シテ獨立紙幣)ト稱スル。

代表紙幣ハ一ニハ正貨ノ價值ヲ代表シテ價值測定ノ基準トナリ紙幣ニテ貨物等ノ價值ヲ測定スレバ正貨ニテナセルト等シク見ラレ、二ニハ價值アル正貨ノ物體ヲ代表シテ價值移轉ノ手段トナリ、紙幣ヲ交付シテ支拂ニ充ツレバ正貨ニテナセルト等シク見ラルル。或説ノ如ク支拂用具タル職能ヲ盡シ得ルモ價值ノ基準タル職能ヲ盡シ得メト云フハ謬リテ、正貨ノ精神及ヒ身體ヲ代表シ、譬ヘハ影ノ形ニ件フ如ク、虎ノ威ヲ藉ル狐ノ類テアル。但シ代表紙幣ガ濫發其他ノ事情ニ由ツテ變態ヲ呈シ、正貨ト多少ノ相違ヲ來タスコトアルモ、而カモ其故ニ正貨代表ノ意義ヲ没却スルコトハナイ。

兌換紙幣ハ勿論ノコト、從來世ニ現ハレ正貨ト一定ノ關係ヲ保持スル不換紙幣モ亦代表紙幣ノ一種デアアル。

余ハ兌換券ト兌換紙幣トノ間ニ事々シキ差別ヲ立テヌ。私立銀行ノ發行セル兌換券ト雖、普遍的意義ニ於ケル貨幣ノ職能ヲ盡ス限リハ之ヲ貨幣ノ一形態タル兌換紙幣トスル。又不換紙幣ノ名ハ專ラ正貨ト一定ノ關係ヲ有シ、而カモ兌換紙幣ニ於ケルガ如キ條件ニテ兌換セラレナイ紙幣ニ限ツテ之ヲ用ユル。正貨ト稱セル紙幣ヲモ不換紙幣ト呼ブベキヤ否ヤハ單ニ用語ノ問題ニ過ギナイガ、余ハ唯ダ、不換紙幣ヲ兌換紙幣ニ對セシメ、二者ヲ正貨ト一定ノ關係アル代表紙幣ノ細別ト見ル方ガ、貨幣史上ノ事實ニ適合スル穩當ノ用語アリ、又正貨ト稱セル紙幣ハ兌換不換ノ問題ヲ超越セル純粹新規ノ紙幣ナレバ、代表紙幣ニ對シテ獨立紙幣ノ名稱ヲ付スル方ガ其概念ヲ表示スルニ都合ガヨイト思フダケデアアル。

兌換紙幣モ不換紙幣モ共ニ正貨ヲ代表スルニ由ツテ初メテ成立シ、又初メテ流通シ得ルノデアアル。無論是等ノ紙幣モ亦貨幣ノ種類デアアル以上ハ社會法ガ其ノ存立及ビ流通ヲ保障スルコトハ必要デアアル。(勿論、其社會法ハ代表關係ヲ成立セシムル信用制度トハ別種ノモノデアアル)。貨幣ガ個人私別ノ用財デナク(其デストラ物權ノ保障ガ大切デアアルホド故)、社會公共ノ用財デアアル以上ハ何種ノ貨幣形態ノ成立ニモ必ス社會法ノ保障ヲ要スルハ當然デアアル。サレド斯ノ如キハ一切形態ノ貨幣ニ通ジ、普遍的意義ニ於ケル貨幣ノ成立要件デアツテ、何ニモ兌換紙幣又ハ不換紙幣ニ特殊ナル譯デナイ。而カモ其要件ハ形式的要件タルニ止マリ、普遍的貨幣ニ就テ言フモ其他ニ根底カラ貨幣ヲ成立セシムル實質的の要件ガ純粹ノ經濟的原因トシテ別ニ存スルノデアアル。貨幣ヲ目シテ單ニ存立流通ヲ保障スル社會法ノ產物トナスハ恰モ法人擬制說ノ如キ偏見ニ陥レルモノデアアル。

殊ニ其ノ社會法ヲ武制法ニ限リ、慣習法及ヒ文化法ヲ除外スルニ至ラハ寧ロ之ヲ謬見トナス外ハナイ。先キニ本誌ニ於テ不換紙幣ノ流通根據ヲ論シタル際ニハ強制通用力說ヲ批評スルニ急ナル餘リ、廣ク社會法ノ保障ニ就テハ何事ヲモ述ブルノ暇ガナカツタ。余ハ唯ダ不換紙幣ニ特有ナル流通根據ガ強制通用力ニアラザルコトヲ主張スルニ止マリ、汎ク貨幣ノ存立流通ヲ保障

スル社會法が貨幣ノ一形態タル不換紙幣ノ存立流通ニモ當然ニ形式の要件トナルコトヲ否ムノデハナイ。併シ其社會法ハ必シモ強制のナルヲ要シナイ。極端ニ言ヘバ他人カ紙幣ヲ受領スルヤ否ヤニ就テ民衆ガ危惧ノ念ヲ懷カザル程度ニ於テ流通ニ關スル社會慣習が存在スルヲケテモ差支ナイ。而シテ社會法ノ保障力ヲ強ムル必要ノ程度ハ社會民衆ガ紙幣ヲ了解シ其流通ニ習熟セル程度并ニ紙幣發行者が民衆ヨリ受クル信用ノ程度ニ反比例スルノデアアル。

一般ニ貨幣ノ成立ニハ社會法ノ保障ト云フ形式の要件ノ外ニ一層重要ナル實質の要件が存在スル。社會經濟ノ普通現象タル財物移轉(一方的移轉タル徵收及支給ト双方的移轉タル交換及貸借トヲ合セタルモノ)ガ廣ク且ツ繁ク行ハレテ規則正シク發展スルトキハ、一社會ニ普遍的且ツ永久のナル價值測定ノ基準并ニ價值移轉ノ手段ヲ一定セントスル社會の要求ヲ生ズル。此要求ニ基キ一定種ノ財物ヲ推舉シテ如上ノ職分ヲ負擔セシムニ至ル所ノ社會意志ノ決定ハ之即チ貨幣成立ノ實質的根據デアアル。短ク言ヘバ財物移轉ノ樞軸ヲ作り、其ノ周圍ニ財物移轉ヲ確實圓滑ナラシメントスル社會心意ガ貨幣ヲ創設スルノデアアル。斯カル社會心意ハ普遍的且ツ永久の志向ヲ有スルカラ亦此一種ノ社會法ニ外ナラス。サレド其ハ單純ニ貨幣ノ存在及流通ヲ保障スル社會法トハ撰ラ異ニシテ居ル。一ハ内容ヲ決定スル實體法デアリ、他ハ其實體規定ヲ維持スル運用法デアアル。此ノ貨幣ヲ成立セシムル實質の要件タル社會法モ初メハ慣習法デアツタガ後ニ強制法ニ移ツタ。今日ノ貨幣法ニ於テ金ヲ本位貨幣ニ限定セルガ如キハ如上ノ社會心意ヲ集中の武制的ニ決定シタノデアアル。保障ノ任ニ當ル社會法モ亦同様に性質ヲ帶ビ、本位貨ノ受領ヲ強制シ偽造ヲ禁遏シ其他一箇人ガ社會心意ニ裏切ルコトヲ防止シテ居ル。要スルニ貨幣ハ社會用財デアルカラ社會法ノ產果ニ外ナラナイガ、其ノ中ニ貨幣成立ノ實

質的要件タルモノト形式的要件タルモノトヲ區別シナケレバナラヌ。

戶田博士ガ本誌第二卷第六號(以下同博士ノ説トアルハ之ニ倣フ)ニ於テ「不換紙幣ノ流通ニハ之ニ關スル社會的保證ノ外ニ世人モ或程度ニ紙幣ノ存在ヲ希望シ、有力ノ保證アルヲ賴ンデ各自ニ之ガ流通ヲ維持セントスルノ意志ノ存在スルコトヲ必要トスル」ト謂ハレ、更ニ「存在ヲ希望スル一般民意ノアルコトヲ必要トスルト云フコトハ、正貨ヤ兌換券ノ存在ニ就テモ等シク云ヒ得ル所デアル」ト付言シテ居ラルル。如上ノ見解ヲ「流通ノ維持」ト云フ文句カラ察スレバ社會法ノ保障ト云フコトヲ箇人ノ立場カラ見ラレタヤウニ考ヘラルル。サレド之ヲ「存在ヲ希望スル」一般民意ト云フ文句ニ徵スルトキハ、余ノ謂ユル實質的根據ヲ民衆ノ立場カラ觀察セラレタモノト思ハル。若シ果シテ後者トスレバ要スルニ見方ノ相違デ卑見ト大差ナキコトナル。

以上述べタル所ハ普遍的意義ニ於ケル貨幣ノ實質的成立要件デアル。然ルニ問題ハ寧ロ兌換紙幣及ヒ不換紙幣ニ特殊ナル實質的要件ノ何タルカニ存スル。二者ガ正貨又ハ獨立紙幣ト異ル所ノ存立及流通ノ根據如何ニ在ル。吾人ハ兌換紙幣モ不換紙幣モ共ニ發行者ガ證券ヲシテ正貨ヲ代表セシムルコトヲ説示シ又ハ默示シ、社會法ガ其代表關係ヲ認定スルコトヲ以テ實質的根據ト見ルノデアル。(政府發行ノ紙幣ナラバ、發行者ノ代表關係ノ設定ト社會法ノ代表關係ノ認定トハ結局一所ニナル。又茲ニ謂フ社會法ノ認定ハ社會的ニ代表關係ノ設定ヲ認許スルノ意味デ、通用強制ハ勿論其他流通ヲ保障スルノ意味デハナ)之ニ由ツテ二者ハ其成立ヲ完フシ同時ニ流通ノ第一歩ヲ始ムルノデアル。其中ニテ兌換紙幣ハ即時兌換ノ條件ヲ以テ一般のニ無制限のニ正貨ヲ代表シ、不換紙幣ハ債務相殺ノ條件ヲ以テ特別のニ制限のニ正貨ヲ代表シ、同類ノ代表紙幣ニ兌換的、代表紙幣ト不換的、代表紙幣トノ別種ヲ生

スルノゾアル。

戸田博士ハ余ノ謂ニル相殺條件ヲ以テ不換紙幣ノ一部ニ許サントモ、汎ク不換紙幣ノ流通根據トナスコトヲ拒マレタ。思フニ之レ不換紙幣ノ概念ガ博士ト余トニ於テ一致シナイカラデアラウ。博士ハ「紙幣ニハ之ヲ借用證文ト見テ辨濟償却ニ由リテ終了ナ豫想スル債務タルコトヲ必要トスルモノノ外ニ、永久ノ制度トシテ成立シ得ルモノガアル。後者ヲモ紙幣ノ範圍ニ收メテ可イ」ト謂ハレ、其ノ紙幣ハ無論博士ニアツテハ不換紙幣デアラウガ、其中ニハ余ノ謂ニル獨立紙幣ヲ是認セラレナクモ、少クトモ從來世ニ出テタル不換紙幣ト異レル別種ノ本位紙幣ヲ包含シテ居ラルルコトト察セラルル。果シテ然リトセバ之レ見解ノ相違デナク、論題ガ未タ充分ニ共通ニナツテ居ラヌカノ感ガアル。唯タ吾人ハ博士ガ兌換紙幣以外ノ紙幣ニアツテハ流通保證ノ存在ヲ特ニ必要ナリトセラレ、尙ホ「借用證文ニ限ラザル紙幣ニアツテハ社會的勢力ノ代表者就中政府ガ之ニ對シテ流通保證ヲナスコトヲ以テ其ノ成立ノ基本ト認メル」ト論ゼラレ、吾人ト力説シテ居ラルルコトヲ遺憾ニ感ズルノデアアル。

福田博士ハ本誌第三卷第一號(以下同博士ノ説トアルハ之ニ倣フ)ニ於テ先ツ余ノ説明ガ不換紙幣ノ成立根據ト流通根據トヲ分別シテ論ゼザルガ如ク見ユルト指摘セラレ、又余ノ擧ゲタル相殺條件ハ一旦強制通用力ニ由ツテ成立シタル不換紙幣ノ流通維持條件ニ就テ細説シタルモノト見ラレ、尙ホ成立要件トシテノ相殺條件(博士ハ之ヲ納稅充當ト訂正セラレタルガ是ニ就テハ後ニ讓ル)ハ非強制不換紙幣ノミニ當儼マリ、強制不換紙幣ニハ之ヲ認ムルコト能ハズト否認セラレタ。余ハ先キノ小論文ニ於テ初メニ「不換紙幣流通ノ根據(若クハ其ノ存在ノ根據)ニ就テ云々」ト言ヘルノミニテ後ニハ多ク唯タ流通トノミ言ツタ爲メニ計ラズモ些事ニ就テ博士ヲ煩ハスニ至ツタコトヲ遺憾トスル。余ノ考ヘテハ本文ニアル通りニ、紙幣ガ最後ニ成立チ完フスル所ノ根據ト紙幣ガ最初ニ流通ヲ開始スル所ノ根據トナ同一ト見ルノデアアル。此ノ同一ニシテ成立及ヒ流通ニ跨ル事情ヲ最モ主要ナル根據ト見テ之ヲ論點トスルノデアアル。貨幣ノ生命ハ流通ニアアル。流通ニ置カレザル貨幣ハ貨幣ノ卵デアリ、流通ヲ廢セラレタル(流通ヲ休ムコトハアルガ其テナイ)貨幣ハ貨幣ノ死骸デアツテ共ニ貨幣テナイ。貨幣ハ成立シテルヤ乃チ流通ノ環内ニ入ル。成立ハ體相ニ就テ謂ヒ流通ハ作用ニ就テ謂フ。此ノ意味ニ於テ成立根據即チ流通根據トシテノ相殺條件ヲ擧

ケタノテアル。此點ハ茲ニ補修シテ博士ノ寛恕ヲ乞フ次第テアル。

強制不換紙幣——從來ノ不換紙幣ハ概シテ強制貨幣テアルガ故ニ結局ハ一般ニ不換紙幣ノ存立及ビ流通ノ根據トシテハ必シモ相殺條件ヲ要シナイトセラルル博士ノ高見ニ對シテハ頑固ナカラ依然、卑見ヲ保持シタイト思フ。余ハ國家ガ強制力ヲ以テ不換紙幣ヲ制定シ流通セシムルト云フダケテハ満足ガ出來ナイ。國家ハ如何ナル根據アツテ斯カル強制ニ成功スルカ、又民衆ハ何故ニ斯カル強制ヲ甘受スルカト反問シ、之ニ對シ相當ノ經濟的説明ヲ求メザルテ得ナイノテアル。國家（少クトモ進歩セル國家）ノ強制ハ、無論武力テハアルガ僑人ノ強迫ト異リ、其本質ハ國民ノ結合意志ガ國民各箇ノ上ニ臨ム一形式ニ外ナラサルガ故ニ、強制ト云フモ單純ナル武斷的威壓テナク、何等ガ民衆ヲ満足サスベキ理由ガ存シナケレバナラヌ。強制力萬能說ハ諍スル所、形式論ニ過ギナイ。余ハ其ノ民衆ヲ満足サスベキ理由——少クトモ兌換紙幣ニ於ケル兌換條件ニ比スベキ不換紙幣存在ノ根據——トシテ相殺條件ニ由ル正貨代表關係ヲ擧ケタノテアル。

福田博士ハ又、納稅充當ナル在來ノ見解ヲ保持セラレ、相殺ト云フハ總當テナイト弁正セラレタ。是ノ點ニ就テ博士ト余トハ相殺ノ概念ヲ異ニシテ居ルト思ハルカラ發文トハ思ヘド少シク補說ヲ試ミタイ。余ノ謂ユル相殺ニ由ル債務ノ決済ハ無論民法上ノ其ニ限ルノテハナイ。一般法理ノ上カラ見テ相殺ノ意義ヲ有スト云フマデテアル。一體ニ相殺ハ必シモ謂ユル取引ニ由ル債務又ハ物權ノ有價的移轉ヲナスベキ債務若クハ双方向的支拂ノ債務ヲナケレバ行ハレナイトハ言ハレナイ。又相殺シ謂ベキ債務ハ私法上ノモノニ限ラナイ云法上ノ債務デアツテモ一向差支ナイ。租稅デモ罰金デモ國家ガ徵收命令ヲ發スレバ私人ノ國家ニ對スル金錢債務デアリ、航路補助金ノ如キ官吏ノ俸給ノ如キ何レモ國家ガ私人ニ對スル金錢債務デアツテ皆相殺シ得ベキモノデアアル。相殺ハ畢竟、債務ノ目的物ガ同種同額デアリ、又其履行期ガ等シクサヘアレバ當事者ノ意思表示又ハ法令ノ規定ニ由リテ行ハレ得ル。必シモ其外ニ債務ノ原因若クハ態様ヲ問ハナイノテアル。又國家ノ債權債務ハ年年繰返シ若クハ法規ニ由ツテ連續スルガ、併シ債權行使期（納稅期日ノ如キ）及ビ債務履行期（俸給支拂期日ノ如キ）ハ夫々一定シテ箇々ノ債權債務ト見ルコトガ出來ル。一債務履行ノ際ニ交付セル不換紙幣ガ一債權行使ノ際ニ國家ノ手ニ歸ヘル。即チ借用證文ヲ手ニ入レテ相殺トナル。勿論斯カル相殺ハ一時一回一定ノ相殺テハナク、一定ノ條件ノ下ニ國民ヲ相手トシテ繼續的ニ行フコトヲ明示又ハ

暗示シ而シテ箇々ノ場合ニ之ヲ實行スルノテアル。其ハハヤ交互計算ト似タル所アルモ要件ガ異ツテ居ル。要スルニ相殺ト謂フ外ハナイ。

又兌換紙幣ガ相殺條件ノ上ニ立ツト云フコトハ納稅充當ニ根據ヲ有スルト云フコトト必シモ同一テナナイ。納稅充當ノ語ハ無論擴張シテ國庫ニ對スル支拂充當ト解スベキテアルガ、問題ハ何故ニ國家ハ不換紙幣ヲ無制限ニ受領シ自己ニ對スル支拂充當ヲ認ムルヤニアル。之ニ對シ國家ハ不換紙幣ヲ強制貨幣トナセルガ故テアルト答フルナラバ法制說トシテハ說明ニナルガ、其ナラバ何ニモ不換紙幣ニ就テ納稅充當ナド言フニ及バナイ。國法ガ存立ヲ認定シ流通ヲ保障スル貨幣ナラバ何種ノモノデモ納稅充當ノ資格ガアル。其ハ法貨幣タル效力ノ一タルニ止マル。不換紙幣ニ就テ是マテ特ニ納稅充當云々ナルハ如上ノ故テナク、國家ガ紙幣發行者テアルカラテアル。發行者タル國家ガ人民ニ紙幣ヲ正貨ト等シク受領セシムルニ對シ自ラモ無制限ニ之ヲ正貨ト等シク受領スルト云フ意味ニ解シナケレバ問題ノ解釋トハナラマト思フ。代表者タル兌換紙幣ノ流通ガ怪シクナレバ、人々ハ之ヲ發行者ノ許ニ連行キテ本人タル正貨ノ引渡ヲ求ムル。均シク代表者タル不換紙幣ノ人望ガ惡クナレバ、市場テハ尙他種ノ貨幣ヲ使用シ又ハ使用スベク餘儀ナクセラルルトモ、發行者ヘノ支拂ハ力メテ不換紙幣ヲ送附ケテ本人タル正貨ノ支拂義務ヲ免レントスル。所ガ正貨ナラバ流通ガ澁滞シテモ發行者ヘ持行カナナイ。發行者ヲ相手取ルノハ代表紙幣ノ特優テアツテ代表ノ約束ヲ履行セシメントスルノテアル。其約束履行ハ不換紙幣ニアツテハ發行者ノ債務相殺ニ外ナラヌ。必シモ發行者ヲ一要素ニ加ヘザル納稅充當ナル條件ヲ以テ不換紙幣ヲ論スルハ遠カラズト雖モ當ラナイノテアル。

不換紙幣モ亦兌換紙幣ト均シク正貨ヲ代表ストナス卑見ニ對シ、福田博士ハ西洋ノ通説ヲ援イテ、兌換紙幣ハ正貨ヲ代表スルモ不換紙幣ハ正貨ヲ代理ストノ見解ヲ採ツテ居ラルル。(但シ非強ナルカ將タ何レニモアラサルカノ點ガ明カサレテナイ) 卑見ニヨレバ代表ト代理トノ別ハ兌換紙幣ト不換紙幣(強制、非強制共)トヲ區別スル目標テナク、其ハ二者ヲ通シテ紙幣ノ見方ノ相違ニ由ル差別デアアルト思フ。二種紙幣共ニ其體相ヨリ見レバ正貨ノ職能ヲ代表スル證文デアアルガ、其作用ヨリ見レバ

正貨ノ職能ヲ代理スル道具デアル。紙片ヲ以テ價值ヲ測定シ、紙片ヲ交付シテ價值ノ移轉トナスハ、其ガ正貨ヲ代表シ正貨ノ價值ヲ社會法的ニ勸請奉置シテ居ルカラデアツテ、紙片其モノニハ斯カル固有ノ位ハナイ。紙幣ハ正貨ノ威力ヲ背後ニ控ヘ其二代ツテ其ノ位ヲ外部ニ發表スル機關デアル。サレド隣ツテ他面ヨリ見レバ一片ノ紙モ亦一種ノ財物デアル。思想ヲ盛レルモノデアハアルガ、トモカク外界ニ存在スル有形ノ財物デアル。而カモ其ハ精巧優美ノ意匠ニ成レル一種ノ工藝品デ、手ノ切レルヤウナモノヨリモ裂目ヲ繼ギ接ギシタモノヲ先キニ人手ニ渡サウトスルダケデモ特有ノ效能ヲ有スル財物デアル。其ガ價值表示ノ明瞭ナルコト、價值表示額多クシテ大取引ニ便ナルコト、複製困難ニシテ偽物受領ノ危険少キコト、貯藏携帶授受ニ便ナルコト等ノ諸點ニ於テ正貨ヨリモ優レテ人々ニ愛用セラルルノデアル。(煥銀銀行ハ一千九百一年以來金貨ヲ市場ニ流通セシメントシテ手形ノ割引等ニ金貨ヲ用ヒタルモ其金貨ハ關モナク銀行ニ復歸シテ人々ハ依然紙幣ニ而カモ法律上兌換ノ義務ナキ銀行紙幣ニ愛用スルト云フコトデアル)。

斯カル特殊ノ效能ヲ有スル財物ガ正貨ニ代ツテ價值測定及ヒ價值移轉ノ職務ヲ處理スル。正貨ハ鐵城裡ニ安眠シテ身ヲ勞シナイ、紙幣ガ代理者トナツテ市場ヲ驅廻リ正貨ノ任務ヲ代辨スルノデアル。

不換紙幣ハ兌換紙幣ト異リ別ニ正貨ヲ安眠サセテ居ナイヤウデアアルガ、其ハ特別代表者デアアルダケニ代理者トシテ安眠ノサセ方モ特別ナルダケデアアル。目下ノ露佛獨ノ不換紙幣ハ莫大ナ正貨ヲ安眠サセテ居ル。其ハ暫行不換デアアルカラ暫時、正貨ヲ休息セシメテ居ルニ過ギナイト謂ハルレバ其マデアアルガ、後ニ述アルガ如キ在內不換紙幣ハ立派ナ永久不換紙幣デアツテ而カモ立派ニ正貨ヲ安眠サスル苦勞人デアアル。但ダ正貨ヲ其居城ヨリ逐放セル墮落不換紙幣ハ幣制ノ希望セサル變態ノ紙幣タルダケニ正貨ヲ安眠サセナイテ幽閉シテ居ル。斯カル不換紙幣ハ無論貨幣法ノ健兒デナク、惡財政ノ因果ノ種デアアルカラ吾人ノ注文通りニハ行カナイノデアアル。

斯ノ如ク體相ヨリ見レバ紙幣ハ正貨代表ヲ效能トスル思想財テアツテ内容タル思想ト外形タル紙片トハ存在ノ運命ヲ共ニシテ居ル。サレド作用ヨリ見レハ紙幣モ亦一種別在ノ財物トシテ代表關係ヲ通シテ正貨ト不離ノ接觸ヲ保チナカラ而カモ代辨者トシテ自己特有ノ效能ヲ發揮スル。紙幣發行ノ目的ハ一ニハ信用ヲ有形化シテ正貨ノ存在量以上ニ通貨ヲ供給セントスルニ存シ、二ハ正貨ノ使用コリ生ズル紛失磨損及勞費ヲ避ケ且ツ正貨以上ニ便利ナル流通用具ヲ得ントスルニ在ルガ、前者ハ即チ正貨ノ代表關係ニ基キ、後者ハ正貨ノ代理關係ニ由ル。斯カル體用ノ關係ハ兌換紙幣モ不換紙幣モ根本ニ於テ同様デアアル。而シテ紙幣ノ本質ヲ明カニセンニハ作用ヨリモ寧ロ體相ニ着眼スベキガ故ニ二者共ニ之ヲ代表紙幣ト見ルノデアアル。

然ルニ若シ不換紙幣ダケハ體相ニ於テモ正貨ノ代表者デナク代理者デアルトスルナラバ、先ツ其代理權發生ノ原因ヲ明カニスルカ、然ラザレハ不換紙幣ハ當然正貨ヲ離レテ自立スルモノト見ナケレバナラス。吾人ハ今ノ所、斯カル代理權發生ノ原因ヲ探リ得ナイ。サレバトテ不換紙幣ヲ自立貨幣ト見ルナラバ其價值カ何處カラ來ルカガ問題トナル。一片ノ紙面ニ百圓ト銘記スルコトハ出來ル(尤モ自立貨幣デアレバ唯々百圓ト銘記スル)。然ラハ其名價ハ何ヲ意味スルカ。若シ正貨ト紙幣トガ(ダケテ、金百圓ト銘記スルコトハ出來ナイ)。全ク別箇固有ノ價值ヲ有スルト見ルナラバ、其ハ明カニ併行複本位制トナツテ進歩セル貨幣制度ニハアリ得ザルモノトナリ、而カモ尙ホ紙幣價值ノ淵源ハ全ク見當ガ付カナクナル。從ツテ此場合ニハ「くなつぶ」流ノ法制說ヲ探リ、價值ノ單位ハ國法ノ制定スル所デアリ、其單位ニ據リ紙幣ニ一定ノ名價ヲ付スルト見ル外ハアルマイ。即チ法定ノ價值單位ガ先ツ存在シ其ガ根本トナツテ

一方ニハ正貨ニ表示セラレ他方ニハ紙幣ニ表示セラルル譯トナル。是ノ見解ヲ徹底セシメントセバ之ヲ兌換準備額ヨリモ數倍多ク發行セル兌換紙幣ニモ及ボシテ此亦本質上正貨ノ代理者ト見ナケレバナナルマイガ其ハ常識カラ考ヘテモ無理ニ聞エル。不換紙幣ナラバ目ノ前ニ正貨ヲ控ヘテ居ナイカラ一應理アルカ如ク思ハルルモ、此見解ヲ認ムルトセバ今度ハ金紙ノ双關複本位制トナル。其ナラハ金紙ノ法定比價ハ如何ニシテ定メ得ルカ。紙幣ニハ資料價值ガナイカラ金銀ニ於ケルカ如キ比價ノ成立シ得ナイコトハ言ヲ須タヌ。法制說ノ如ク正貨ノ資料價值ヲモ無視シテカカルトスルモ金紙共ニ單純ナル思想財ナラバ此亦比價ガ成立シ難イ。若夫、比價ノ如キハ夙ニ通り越シテ國權一點張りデ金デモ紙デモ勝手ニ價值ヲ付與スルト謂ヘバ譯ナク解決スルガ、斯カル正貨ノ價值ヲ無視スル見解ハ國法ガ何ニ據ツテ價值單位ヲ創定シ得ルカラ説明シ能ハサルノ故ヲ以テ吾人ノ首肯シ能ハザル所デアアル。吾人ハ不換紙幣ノ一圓、一弗ト云フハ金貨一圓、一弗ノ意味デアツテ、紙幣カ衆人ノ前デ一圓ト名乗ラ上グレバ其ハ正貨ノ價值ヲ代表シ本人タル正貨ガ名乗ルト同シ效力アルモノト見ル。金紙並ビ行ハルル貨幣制度ハ固ヨリ一種ノ金貨本位制デアアルガ、強イテ其特色ヲ示サントセハ或ハ之ヲ正副金貨本位制ト呼ブモ差支アルマイ。紙幣ハ謂ハバ正貨ノ副本デアアル。

山崎博士ハ一種ノ法制說名稱ヲ探ツテ居ラルル。國家學會雜誌第二十五卷第五號及第六號ニ掲ケラレタル「貨幣ノ價值ヲ論ズ」ト題スル博士ノ論文ハ、價值一元說ヲ立テラレ、正貨モ不換紙幣モ唯一價值ノ多面表現ナリトセラレ、從ツテ不換紙幣ノ存立根據ハ唯一價值ノ連續ニ存シ恰モ銀本位制ヨリ金本位制ニ移ルニ當リ金貨ガ銀貨ヨリ價值ヲ相續スルガ如シト見テ居ラルル。此見解ハ先金後紙ノ連續關係ナラバ複本位制ナリトノ批難ヲ免ルルモ、其ナラハ今日ノ米國ノ如キ金紙並ビ行ハルル場

合ハ如何ニ説明スベキカ。貨幣價值ノ相續ハ銀本位貨ガ金本位貨ニ移リ又ハ代表紙幣ガ獨立紙幣ニ移ルカ如ク各貨幣形態ガ生存時代ヲ異ニスル場合ニ之ヲ見ルベク、不換紙幣ガ正貨ト共ニ存在シ又ハ同時代ニ正貨ヲ背後ニ潜在セシムル場合ニハ連續又ハ相續トハ言ヒ難イ。若シ連續ヲ連絡ト解スルナラバ紙幣存在ノ理由ハ極端ナル法制說名稱說ニ歸入スルコトニナルカト思フ。

尙序ナガラ不換紙幣ガ正貨ヲ補充スルト云フコトニ就テ一言シタイ。此ノ用語ハ少シク意義ノ明確ヲ缺イテ居ル。補充ノ語ガ正貨數量ノ不足ヲ填補スルノ意味ナラバ其ハ正貨代表關係ニ基クカラ其テハアルマイ。此ノ用語ハ思フニ正貨ヨリ別種ノ自立の本位貨幣ヲ發行シテ通貨種類ノ不足ヲ補缺スルノ意味デアラウガ、其ナラバ今述ベタ代理ト同シコトトナリ代理ト同様ノ批難ヲ免レヌ。

要スルニ代表及ビ代理ノ兩様關係ハ兌換及ヒ不換ノ兩種紙幣ニ通シテ存在スル。其ハ兩種紙幣ガ同時ニ圓滑ニ流通スル場合並ニ兌換紙幣ガ兌換停止ニ因リテ不換紙幣トナリ、又兌換復活ニ因リテ兌換紙幣トナル場合ニ察スレバ極メテ明瞭デアル。唯、事實上、劣貨横行ノ理ニ因リ、優貨タル正貨ヲ隱遁セシメ、劣貨タル不換紙幣ガ比較的長ク流通界ヲ獨占スルトキハ其紙幣ノ代表性ガ明瞭ヲ缺クコトアルモ、之トテ正貨ハ隱レタダケデ死ンダノデナイ。制度上ハ勿論事實上モ正貨ガ復ヒ流通界ニ歸來スル餘地ガ殘サレテアル。若シ合法的ニ將タ永久のニ正貨ガ葬ラレ、不換紙幣ガ自立シテ貨幣價值ノ位ヲ占ムルコトトナラバ、其ハ全ク正貨ノ代理者デモ補充者デモナイ。代理補充セラルベキ本人ガ已ニ此世ニ生キテ居ナイノデアル。此場合ノ紙幣コン正貨ノ相續者、後繼者デアツテ、改メテ獨立紙幣ノ稱號ヲ享クルノデアル。